

ツキノワグマ人身被害防止 強化期間（10/23～11/30）

県では、現在、**クマ出没警報を発令中**ですが、

- ①死亡事故も含めて人身被害が発生している
- ②目撃等件数が過去最多に迫るほど増加している
- ③山にブナの実などのクマのエサが少ないことから、エサを求めて行動範囲が広がっている

ため、**人身被害のリスク**が非常に高まっています。

ツキノワグマ人身被害防止強化期間中は、特に、クマを寄せ付けない、人身被害に遭わないための5つのポイントに注意してください。



Point① 目撃等情報に注意！

新聞・ラジオ等のマスコミ情報や、県・市町村等からクマの目撃等情報を入手し、危険なところには近づかないよう十分注意してください。

※令和7年度のツキノワグマ
目撃等情報はこちら



Point② 河川敷のヤブに注意！

クマは、河川沿いに移動したり、藪に潜んでいたりします。クマの行動ルートになるような場所には、昼夜を問わず近づかないでください。

Point③ 入山時のリスクに注意！

山はクマの生息域です。特に、今秋は山にクマのエサが少ないことから、クマとの遭遇リスクが高まっています。入山される際は、万全な対策を講じても遭遇のリスクが常にあることを認識し、注意して行動してください。

Point④ クマのエサとなるようなものの管理に注意！

- ・生ごみや食品の残りなどを屋外に放置しないでください。
- ・柿や栗などの果樹は早めに収穫し、食べきれない実を放置せず処分してください。
- ・芋煮会やキャンプなど野外活動の際は、ゴミは残らず持ち帰るようにしてください。

Point⑤ 基本的な遭遇防止対策の継続を！

山林に近い地域では、自宅等の付近でも、朝夕の行動を避ける・クマ鈴を鳴らす・多人数で行動するなど、引き続き、基本的な遭遇防止対策をとり、注意して行動しましょう。

- ・クマと遭遇した場合は、決して騒がず、背中を見せないように、ゆっくりと後ずさりして、その場から離れましょう。
- ・襲われそうになったら、地面に腹ばいになり、両手で首の後ろをガードして首や頭を守りましょう。

宮城県環境生活部
自然保護課